

子どもたちから見る「運動会の価値」 （アンケート集約及び分析 菅）

「今年の運動会と今までの運動会を比べて 運動会の価値ってなんだろう？」

1、 今年か今までの運動会を比べて、それぞれのよかった所とその理由

今まで

- ・応援団があってよかった
→みんなで一緒に応援できるから
- ・お弁当があってよかった
→家族と食べておいしい。昼からも運動会がある方が、たくさん
の出番がある。家族でのコミュニケーションになる。
- ・組体操、騎馬戦がしたかった
→みんなでできる。
- ・児童会種目（大玉送り）したかった
→全校児童みんなのできるから。
→児童会種目があるから、みんなでつながれる。
- ・1～6年までのいろんな演技や競技を見れた。
→1年生のかわいい演技が見れた。
- ・祖父母やいとこ、地域の人やたくさんの人に観てもらえる。

今年

- ・虹のメッセージボードがよかった
→来年もやったほうがいい。
- ・うちわがよかった
→敵、味方関係なく応援できた。
- ・お昼を食べに行けた。
- ・全体練習が少なくてよかった
→長くて暑い
- ・開閉会式は、教室でよかった
→いつも大人の話が長い。教室から始められる。
- ・時間や種目が少なくて、覚えなくてはいけないことが減った。
片付けもなくてよかった。
- ・観に来る人が少なくてマナーがよかった。

2、 運動会の価値ってなんだろう。

- ① 祭典として非日常が味わえる。
- ② 学習成果を異学年・保護者・地域の方との共有
- ③ 自分たちで創る、自治の力。地域との共同。自主的自治的活動。
- ④ 取組みの過程で身体を通して子どもたちが集団としてつながる。
- ⑤ 発表できる喜びや達成感。

- いつもいない人が小学校に集まることで頑張れる。他の学年を観てこんなやっとなやな～と思えるところ。異学年と協力してがんばれる。
- 1～6年までががんばりをお互いに観ていろんな人の成長が感じられる。
- みんなから応援されるから、応援するほうも、される方もうれしいし、楽しい。
- 勝っても負けても認め合うところだと思う。家での話題が増える。
- 児童会種目（大玉送り）などで、みんなの気持ちを感じることができるから。
- 一つのことには一生懸命になって取り組むことができる。一つの目標に向かって、いっしょにつき進める。努力するきっかけになる。体力がつく。一人ひとり高めあえる。
- 団結力を高めて、いい意味でライバルみたいに競い合える。団結できる。成長を感じられる。がんばった成果を出せる。
- みんなで努力して、心に残るものになる。本気が出てくる（本気になれる。）
- 自分のがんばりが認められる。終わった時の達成感。できなかったことが、できるようになる。
- 友情を深められる。絆を深められる。いつも以上につながれる。仲良くなれる。
- 当たり前の運動会が当たり前じゃなくなったので、運動会があることに特別感を持てた。運動会はみんなの元気のかたまり！